

製品名: リン酸化 4E BP1 (Thr46) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe04050**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 13 kDa; Observed MW: 15-20 kDa

抗原情報

遺伝子名	EIF4EBP1
別名	EIF4EBP1; Eukaryotic translation initiation factor 4E-binding protein 1; 4E-BP1; eIF4E-binding protein 1; Phosphorylated heat- and acid-stable protein regulated by insulin 1; PHAS-I
遺伝子 ID	1978
SwissProt ID	Q13541
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

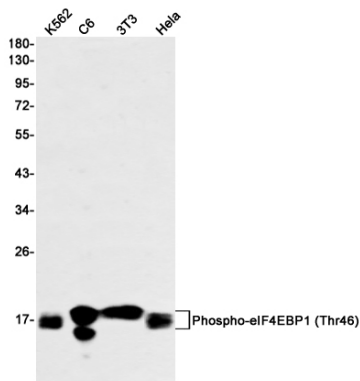
背景

翻訳抑制タンパク質 4E-BP1 (別名 PHAS-1) は、翻訳開始因子 eIF4E に結合してキャップ依存性翻訳を阻害します。4E-BP1 の過剰リン酸化はこの相互作用を阻害し、キャップ依存性翻訳を活性化します。PI3 キナーゼ/Akt 経路と FRAP/mTOR キナーゼの両方が 4E-BP1 の活性を制御します。

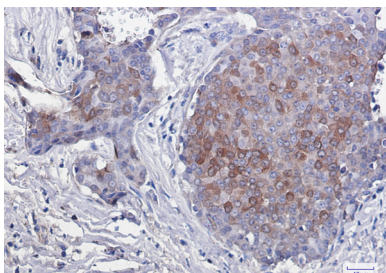
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



Phospho-4E BP1 (Thr46) 抗体を使用した、K562、C6、3T3、Hela 溶解物中の Phospho-eIF4EBP1 (Thr46) のウエスタンブロット分析。



eIF4EBP1/eIF4EBP2/eIF4EBP3 (Phospho-T45) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。